

令和5年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

I 被災者の生活の回復に関する実感

生活の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	コロナ禍の中でも、仕事を続けられてるので、これ以上は無いと思うので。無事に生活しているので、回復したと考える。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	見た目の回復は進んでいると思う。心の復興はどうだろう。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	・被災前と同等の回復は現実的に無理で、今以上回復することも考えられないので、現時点で「回復した」と判断すべきだと思う。 ・「被災者」としての生活の回復は完了したと思っているので、これからは自力で生活していく上で失敗のない選択・計画を立てて、即実行していかなければならないと思う。もう「被災者」ではない。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	現在私の住んでいる山田町中心部の長崎地域内は、転居や復興住宅建設のラッシュが終わり、住環境が整ったようであるが、コロナ禍が影響し、不景気感が漂っている。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	町づくりは終了し、日常生活面での不便はなく、安定した生活に戻ったと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	生活は元通りに戻った感はあるが、人口減少、少子高齢化は歯止めがかからず、商店や飲食店は少なくなって不便を感じる。復興道路も全線開通したので、人口交流に少しは期待している。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	生活も回復したように見えるし、前に進んでいるように思われる。しかし、心の中はわからないので、もう少し話をする必要があると思う。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	三陸道の完成。野田村防潮堤完成。基盤整備が終了。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	・防潮堤工事は、既に完了しているが、終了後の残土の撤去が、これから実施される見込みがたつた。 ・周囲の生活振りは、被災前と同様の水準に回復している。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	再建地で落ち着いた生活を送っている。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	コロナ禍もあるが、その中で経済も回るようになってきている。生活も落ち着いてきていると思う。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	私の周りでは、日常生活が送れているように見える。町内の空き地は目立つものの、11年経って各自がそれぞれの地で生活していると感じている。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	特に大きな変化や困り感を感じることも、周囲との会話から感じることはない。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	住居、仕事、家庭など、日常を取り戻しつつ、過去の振り返りよりも将来を見つめながら生活が送れているように感じ取れることが多い。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	被災の話題も少なくなり、三陸沿岸道路も全部開通となり、全体の生活が、安定している様に感じる。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	住環境も整ってきたと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	震災からの生活面は、回復したと思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	住宅環境は以前と比べても住みよく整ってきたと感じる。三陸沿岸道路の開通がとても大きい。あとは、新型コロナウイルス感染症の影響等で大変だが、雇用の創出について、力を入れてほしい。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災に関連していえば回復してきたと思われる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	・住宅、インフラ、雇用等は回復したと思う。内面はわからないがハードは整ったと思う。 ・コミュニティ活動に関しては、開催企画などは、けっこう行われているので、新型コロナウイルス感染症の影響がなければもう少し活発に行われていたんだろうと思われる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	高齢化は進んでいるが、最近では被災した方々からは、被災をした事での生活の大変さは聞かれなくなっている。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災者の住宅再建は終了したと感じている。公営住宅に入居している方々は、今後、新築するとは思わない。少子高齢化は震災の影響だけではないと思う。景気が良くないのも震災の影響だけではないと思う。漁業も不漁で温暖化が関係あるのではないかと。とにかく、いろんな職業が大変である。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	回復については、既にひと段落し、その後の地域課題に向けての取り組みが必要。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	生活自体(生活環境)は、震災前と同じに戻ったと思う。住居もでき、数は減少したが商業地も整備されたので、生活環境は元に戻ったが、くらし向きはなんとも言えない。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	回復したので、これ以上は無いです。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	住環境の再建、整備の観点から見れば回復したと思われるが、人口減少に歯止めがかからない現状にあることから、各自治体が中心となって移住・定住の促進や医療・福祉の充実などへの一連の取組が必要と思われる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災11年を過ぎて、この1年ほど、ほとんど変わっていないと思う。これ以上、変化する望みは薄いと感じている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	地域のサロン活動などでは、コロナ禍もあるが動きが見られる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	住宅の再建や復興住宅への入居等も落ち着きを取り戻しつつある。一方で、水産業は海の変化に伴う不漁の影響も聞かれ、今後の動向が懸念される。今後ますます、少子高齢化時代を向かえ将来の街づくりがどのように継承されていくのか、長期的に考えると、地域コミュニティなど不安な部分がある。復興後の地域作りや環境にも目を向けていく必要があると考える。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災から11年が経過し、住環境も整備され、被災者も震災前の生活に戻りつつあると思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	町全体が落ち着いた感じだ。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	・自分の農業(ピーマン)の作業に、70代の方が手伝いに来ている。 ・まだ少しだが若い人が農業やいろいろな仕事に来ている。 ・地元の仕事が減っているが、県内に仕事に行っている人が多い。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	11年経ち、公営住宅から新築された家へ住む人たちが多くなった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	目に見える範囲では、町づくりが進んでいる。ただ、個々の生活など見えない部分では、まだ回復していない人もいると思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	コロナ禍にあるものの、皆さん通常の生活を送っているように感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	住環境に関しては、概ね回復したと言えると思う。その上で、生活も安定してきていると思う。これからは、新たな1歩を踏み出す時なのではと感じている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	住環境は再建され回復したように見えるが、雇用の創出は被災直後よりも悪いと思う。物価高、新型コロナウイルス感染症の影響も関係している。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	私は高台の新たな宅地造成された地区に住居を新築して住んでいるが、地区の皆さん全員が東日本大震災で、住宅が全壊・流出した人たちである。私を含めて高齢者も多く、交通の便が悪く、近くには商店も無い。高齢者には不便な住環境と言わざるを得ない。震災後、人口減少が続いているが、産業振興による就労場所確保が課題である。働き場所がないと人は住めない訳であり、喫緊の課題と言える。国や民間を含めた官民一体となった取組が急がれる所であろう。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	コミュニティ形成は大きな課題だと思う。高齢化も進んでいるからだと思うが、部屋にこもりっきりの方が多い気がする。雇用面も求人は業種が偏っていて、すぐに雇用されても辞める方も多い。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	東日本大震災から10年以上が経過して、被災者も住宅再建や新しい暮らしが進んで、落ち着いている。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	震災後に回復した生活が、新型コロナウイルス感染症の影響で逆戻りした部分があるように感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	雇用機会の減少が感じられるようになった。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	ハード面での整備は進んでいるが、地域の高齢化が進み、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、コミュニティの形成が課題。雇用については職種により偏りがある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災から11年経っても、まだまだ空地が多く、売り地や借地になっている。新型コロナウイルス感染症の影響で経済面が悪いようだ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	災害公営住宅の入居が完了し、自己再建の住宅も建ち揃い、住まいの確保は出来たように見受けられる。一方、災害公営住宅からの退去者が始めており、空室が目立ち始めたところがある。高齢化と少子化の流れは留まることはなく、限界集落に近づきつつある。雇用の場は回復しておらず、地区の基幹産業である漁業も水揚げの不振から、難しい経営を余儀なくされ、商工業においても、人口減少と新型コロナウイルス感染症の影響により、業績が悪化し、先の見えない状況が続いている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	被災者という言い方をしなくなった。震災を理由とした話も特に聞かない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	多くの皆様からの御支援を頂き、震災から這い上がった。振り返ると、11年の歳月が過ぎた。順調に歩み始めたかに見えたが、コロナ禍で出足を挫かれたと感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	女	被災からは回復したと思う。最近では、新型コロナウイルス感染症の影響など、被災とは別な要因で生活は窮していると感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	家の建設が進み、それに伴って転居する児童が増えてきた。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	被災前を基準に考えれば、完全に回復とは言えないまでも、見た目(ハード面)には回復してきていると思う。6カ月間を限定すると、大きく何かが変わってきているとは感じられない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	最近6カ月では、大きな変化は見られないと思うので。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	被災者の方から震災の話をあまり聞かなくなった。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	住宅の状況自体は、ほぼ回復と言えるが、違う地域への移住や集合住宅化によりコミュニティが失われたことは、特に高齢者にとっては生活の回復とはとても言えない状況である。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後11年が経ち、あまり話を聞くことがなくなった。それより、コロナ禍で交流がほとんどなく、お盆も正月も挨拶は数も減り、訪問も玄関先程度の挨拶で、落ち着いて話をしていないので、正直なところ分からないことが多いです。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	基本的に仮設住宅が無くなった時点で、復興したと考えるべきと思っている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	地域独自のイベントが開催され、活気が戻っている。新しい家も増え、道路の整備も進んでいる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	ここ6カ月に関しては、あまり変化を感じていない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	震災の影響は全んどないのでは。最近ではホールでのコンサートも多く、日常が戻っていると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	ある程度の回復によって、最近の日常生活については、特に変わった様子は見られないように思う。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	居住施設の再建や道路等のインフラ整備がほぼ完了しており、住環境の面では回復したものと捉えている。一方で、進捗状況という目線では、インフラ整備の完了もあり、この6カ月間での進捗はあまりないものと感じている。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	普通の生活をしているように感じられるが、その内実は相当切り詰めた生活を送っており、被災前と比較すると豊かさは実感できない。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	被災後の住環境等は回復したが、今は新型コロナウイルス感染症、ウクライナ戦争の影響等で生活物資などが次々と値上がりしており、震災後より生活が苦しくなっている。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	ガソリンだけでなく、漁業資材の高騰により生活が苦しくなっている。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災の影響は感じなくなった。しかし、新型コロナウイルスの感染者が再び増加しており、その影響から、経済が沈滞していると思う。復興工事が終了したことによる仕事・雇用の減少もある。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災からの回復は進んでいると思うが、新型コロナウイルス感染症の影響による人の動きが少なくなったためか、高台等に人が見えない。また、商店に客が入っていない状況。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	コロナ禍で、生活様式が大きく変わり、震災前との単純な比較が難しい。
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	住んでいる地域は、大きく被災したわけではなく、被災した知人もいないので分からない。海岸そばの漁業施設や水産加工会社の施設は被災したと聞いているが、現在の経営状態等は分からない。

II 地域経済の回復に関する実感

地域経済の回復度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	・水産商工業施設の復旧復興工事が進み、外観的には復旧復興がなされたようである。 ・地球規模の温暖化現象で、暖流系の魚種が多くはなったが、漁獲量は少ない。親潮系の魚種が不漁であり漁船漁業・定置網漁業が不振となっている。 ・浅海漁業では、海藻の繁茂がよくなり、ウニ漁が回復好調であった。 ・浅海養殖業(ワカメ・カキ・ホタテガイ)は好調である。 ・商店街にあっては、コロナ禍で飲食業が打撃を受けているが、これに伴い他産業にも影響を及ぼしている。 ・山田中心地の国道から海岸線の買い上げ空き地に、飲食店・自動車販売修理工場等の建設がある。 ・三陸道山田中央IT付近柳沢地区に新道の駅やまだ「おいすた」の建設が進み、来年開業となる。経済波及効果が充分期待される。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	震災前より人口減でこれ以上の回復は望めない。
回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	これ以上の回復は見込まれない。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	震災後、ある程度回復していると思う。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響やサケの不漁・磯焼けなど別の理由で苦しい方々も見られる。
回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	経済活動は回復していると感じる。物価高や、景気の良し悪しはあるが、被災とは直接関係はないと思われる。コロナ禍の状況も変化してきて、様々なイベント等も開催され、活気は出てきていると思う。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	震災からの回復のあとのコロナ禍。感染者数は高止まりで、地域全体に不安感があり、活発な経済活動につながりにくい。
回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	回復したので現時点でこれ以上は無い。水産業はこれ以上良くするには機械化を進めるしかない。そのための支援を早くしないとダメになっていくと思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	空き地が多く、土地利用が進んでいない。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	人口の減少があり、これ以上は進まないかなと思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	この2、3年を見ていると、少しは建物が建ったり、商売する人がいるが、大幅に変化するとは思えない状況であると思う。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	サンマなど漁業面で不漁が続いている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災から11年が経過し、ハード事業は終了し、コンビニやショッピングセンターが整備され、徐々に元の生活に戻りつつあると思われる。これからはソフト面で、自助、共助が大事になると思われる。今後は社会福祉協議会や民生委員の仕事が重要視されると思われる。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	漁業者にとって、サケの不漁は大きい。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	地域経済は回復の方向にあると思うが、人によっては新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げが悪かったり、借り入れの返済があつたりで、今は厳しい人がいると思う。
やや回復した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	60歳以上	男	消費者物価の上昇。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	現状では、震災の影響というよりも、新型コロナウイルス感染症の影響の方が大きいように感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	・陸前高田市立博物館が開館した。 ・県外の方を対象にした「お試し居住体験」を企画するなど、地元の人以外にも陸前高田市の取組が広がってきた。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	経済に関しては様々な取組を行っている企業・団体のお陰で活気も戻りつつあると感じる。新型コロナウイルス感染症の影響についても、行動制限がとかれ、人の流れが多くなっているように思う。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	様々な支援や整備が進み、地域経済は回復しつつあると感じる。しかしながら、過疎化に伴う地域経済の停滞は進んでいると思う。将来的なビジョンを明確にして、大胆な施策が必要と感じる。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	農業、林業、水産業、工業と比べて商業分野への支援が必要と感じる。地域住民と密接な商業がより金融面の支援を受けて、シャッター通りに歯止めをかけられるような地域経済の回復を願っている。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	ウイズコロナ禍であり、遠方への移動は少ないと思うが、日常生活は平常化していると感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	新型コロナウイルスワクチン接種及び感染防止策を行い、徐々に飲食店でのお食事もみられるようになったと感じる。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	被災当時から今までの時間経過と物価高、新型コロナウイルス感染症の影響で回復の進みはあまり進んでいるとは思えない。良かったり、悪かったりする。
やや回復した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	震災前よりは回復したように見えるが、今だに未利用地が多くあり、将来のまちづくりがどのようなか心配である。
やや回復した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	復興道路関連事業の完成により、物流や人的交流が活発になり、地域経済にとっては良い方向に向いてきた。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まってからすでに3年を経っており、地域経済に対する影響がコロナ禍によるものなのか震災を原因としているものなのか判断が難しい。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	新型コロナウイルス感染症の影響に加えて気候変動による台風被害や漁獲量減少の影響で逆戻りした部分があるように感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	・新型コロナウイルス感染症の影響に加え、燃料や資材の高騰もあり、業種を問わず市況は厳しいものと思われる。 ・事業所の撤退や廃業等が見受けられるようになってきており、一連の加速が懸念される。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	50歳代	女	景況が悪く、正社員をパート雇用に切替えた企業や、建設業では人員整理を始めたらしいとか、厳しい話ばかりが聞こえてくる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	復興途上での水産物の不漁。そこで、どちらとも言えないと考えた。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	銚ヶ崎地区は毎週水曜市があり、買い物客を沢山見かける。市内ではスーパーがなくなり、産業面がおもわしくないようだ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	各種物価の高騰が追い打ちをかけ、一般住民の生活、経済、家計にも大きな影響が出始めていると思う。また、震災後、大型ショッピングセンターへ人が流れるようになったことに伴い、地元商店街はダメージを受けているものと思われる。三陸鉄道も開通しているものの、乗客利用は思わしくない状況にある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	今度の商品券も在庫が早いうちになくなったと聞いた。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	漁業の町なので漁師の皆さんが元気でないと私たちの生活が潤わない。震災後は漁師の皆さんが力を合わせて一生懸命であったが、新型コロナウイルス感染症の影響と不漁が続く休業状態である。今、秋サケの時期であるが、一本のサケも上がらないとのこと。店頭には一本の新巻も出ていません。寂しい暮れとなる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	建設・建築業種は復興需要の終息で仕事が減少し元気がない。漁業も景気の良い話は聞こえてこない。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	女	地域経済は、復興事業が終わった時点で、被災前より良くはないと感じる。地域経済の最近も、被災だけではない要因で良くはないと感じる。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	地球温暖化、新型コロナウイルス感染症の影響により、全てが苦戦しているように感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	飲食店が長期にわたり店を閉めているところもある。イベント等を行っているが、以前より人が少なく感じる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	商業面だけ見ると、工場、店舗が増えてきている。農・林・水産についてはよく分からない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	地域経済は、営業している商業施設はそれなりに回復していると思うが、営業をやめてしまった飲食店が思っている以上に多く(被災前より)、それも含めると、どちらともいえないと感じてしまう。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	震災以外の影響(新型コロナウイルス感染症、経済、社会情勢など)も加わっているため。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	2年前に現在の住所に引っ越し、以前住んでいた村へ行く機会も少なくなったため、震災前との比較が難しい。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	商業施設は震災前よりは少ないが、新しい拠点から広がりを見せつつある。新しい産業や観光に力を入れて長いスパンで新経済圏となって欲しい。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	復興するにつれ経済が悪くなるという皮肉な所があると思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	個人的にも給与の手取りも下がり、税金と物価の上昇により生活面がとても厳しいと感じる。補助にも限界もあると思うので、根本的に企業全体が賃金を上げられる構造を変えないと、日本に住みたいと思わないのではと思う。特に子どもたちは日本から出ていくのでは。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	災害関連工事が一段落し、防潮堤工事や国庫直轄工事(国道整備等)も一段落した今、ダンプカーの往来も無くなり、街並みも静かになってきた。リニアコライダーのような大型プロジェクトでも具体化しないことには人口減少に歯止めがかからないのではないのでしょうか。地場産業の振興(農林漁業)、企業誘致も積極的に推進すべきである。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	再生に手をつくしていることは理解している。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う影響に関する支援、エネルギー高騰に関する支援など、色々な対応を行っているのは分かっている。もはや、震災前を比較することが難しくなっているかもしれない。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	地域経済は、震災の影響もあると思うが落ち込んでいるようだ。低所得の方々も多いと感じる。現在、生活が厳しくなっているようだ。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	お盆のあたりは他県ナンバーも増えて経済効果もあったように思うが、ここ3カ月くらいでは新型コロナウイルス感染症の影響もあり、あまり回復してないのではと思っている。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	駅前の商業ビルは閉店し、再建にむけて市が動いているようだが、再建時にまた店が戻って活気が出るのか疑問だ。水産業もサンマやサケの不漁が続いていて、地域経済には元気がないと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	地域経済は、ほぼ震災前の状況に戻ったと感じる。住宅着工数も減り、市の予算も大幅に減ったので、新型コロナウイルス感染症による影響がまだ続いていて、震災前より状況が悪い業種もある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	特に建設業や水産業の景気が悪いように感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	地域経済については、震災の影響も表立っては感じられることも少なくなり、ほぼ落ち着いているように見受けられる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	復興需要の終息とともに、地域経済は冷え込んでいる。特に建設業界は厳しいと感じる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	営業基盤の主体となる大槌町に関しては、漁獲量の低迷、人口流出、高齢化進展等の複合要因もあり、経済規模が縮小している印象が強い。また、地域の有力企業が内陸部に活動拠点(含む本社移転)を移している点も全体的な回復が感じられない要因の一つと考えられる。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	中堅規模の企業は補助金利用により、設備が回復したが、労働力不足に直面し、事業を維持することで精一杯である。小規模事業者は後継者不足や業況の悪化により、廃業・清算する先が増加している。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	サンマ・サケの不漁、建設業における復興工事終了に伴う大幅な工事量の減少、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円高の影響による物価高騰など、震災以外の理由も含め地域経済は厳しい状況にある。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災後10年以上が経過したが、災害復旧・復興に係る需要が殆ど無くなり、地域人口の大幅な減少や基幹産業である水産業の停滞が影響を及ぼすと共に、先行きの見通しがたたない新型コロナウイルス感染症の状況が暗い影を落とし、地域経済の回復は進んでいない。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	ウクライナ侵攻の影響もそうだが、今後は汚染水の海洋放出による影響が出そう。
あまり回復していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	大きい農業法人、または個人にはいろいろな支援制度があるが、小さい農業者にはあまりない。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	水産資源減少(不漁)、ガソリン価格上昇、物価高など不安材料がある。経営者の高齢化やコロナ禍などによる飲食店を閉店の話聞いた。
あまり回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	コロナ禍、町の少子高齢化、ウクライナ戦争による物価高、地球温暖化、様々な要因により景気が悪いことしか感じられない。県では支援を頑張ってくれているとは思いますが。
あまり回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	気候変動等により、サケ、ウニ、アワビ等の漁業資源の減少により、地域経済の回復が遅れている。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	・地域経済に関しては、水産関係の仕事で成り立っている地域なので、とにかく原料が獲れないことには物事が始まらない状況。 ・新たな産業を立ち上げられたら話は変わってくるのかもしれない。
回復していない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災の影響は感じなくなった。しかし、新型コロナウイルスの感染者が再び増加しており、その影響から、経済が沈滞していると思う。復興工事が終了したことによる仕事・雇用の減少もある。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災前に比べれば、街も整備されて新しいスーパーも営業していますが、市中心部は人通りも少なく、閉塞感を強く感じている。コロナ禍で、人的交流は減り、物価高も影響していると思うが、景気が良いとか、地域経済が回復しているという実感はない。コロナ、物価高、不漁、大雨洪水災害、人口減等震災とは関係ないことが多くあると思う。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	町の中心である漁業が思わしくない。魚がとれない。復興道路も生かされているか不明。
回復していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	新型コロナウイルス感染症の影響で不景気のため、経済は厳しい。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	震災でなく、新型コロナウイルス感染症の影響と思う。経済は最悪の方向に向っている感じ。町に人の動きがなく、イベント開催時にも他からは人が来るが、地域の人々の来場が少なくなった様に見える。飲食店の閉店が増えている。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	コロナ禍で、生活様式が大きく変わり、震災前との単純な比較が難しい。
無回答	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	漁業に依存の高い地域であり、経済の活性化のため後継者の養成と漁業の振興に力を入れた政策の実施が必要と思う。
無回答	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	・農地・水田・畑は区画整理され、被災前に比べ、米・加工トマト(今は栽培なし)を出荷。生産性は向上した。 ・最近の6カ月間は、その以前と変わらない。

Ⅲ 災害に強い安全なまちづくりに対する実感

災害に強い安全なまちづくりの達成度及び6ヶ月間の進捗状況についての回答区分により、自由記載欄の記載内容を取りまとめると以下のとおりであった。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	避難所などが整備されたり、市のイベントなどを見ても達成したと感じる。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	・「東日本大震災」での安全強化は達成出来たと思う。 ・日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定が公表されたみたいである。今回整備された防潮堤等で対応できれば良いのだが。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	私は嵩上げに自宅を建設した。自宅前に高台へ直通できる道路もある。水面から10m嵩上げがなされ、高台までの公民館まで10m位登る。計20m位である。東日本での津波の時は、ここ今泉の町は高さ14mとの事。川口に防潮堤も完成し感謝している。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤も整備され、ハード面は終了したと思われる。これからは事前復興に向けての行政側の対応が大事になると思われる。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	・東日本大震災よりも大きな津波が来ると言う事で不安である。 ・物理的な物を作るより、ソフト面的な避難方法を充実したら良いと思う。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	40歳代	男	工事をしている所がだいぶ減った。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の整備は完了したが、手摺りを追加して好しい。避難道については未だ不十分。見直しや改善策を見い出して欲しい。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	女	防潮堤の工事が最後であり、落ち着いて暮らせるように整備され安心できる。
達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	道の駅が海の近くに数多くあり、避難が大変だと思う。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	職場で、災害時の避難場所を確認するために、実際避難場所に行ってきた。自分の目で見て覚えることは大事である。
達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤や道路整備等、ハード面では充実されたと感じる。今後の訓練等の充実が求められる。
達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	今後はさらなるインクルーシブ防災の必要性を感じているが、行政から県民へのこの点の発信を強めて欲しいと願う。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	市役所や警察署の移転完了に加えて、防潮堤整備も進んでいる。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	40歳代	男	・ハード面での復旧は概ね完了しているようにも見受けられる。 ・今後、災害に強いまちづくりを推進していくためには、DX等の先進技術を活用したスマートシティの取組が重要になってくるものと思われる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	防潮堤等が出来たのは喜ばしいと思う。しかし、震災の記憶が薄れていっている気がする。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の工事等も終り、災害に強いまちになっていると思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤などハード面は整備されたが、観光地における緊急時の対応策について、もっともっと検討が必要と思う。具体的には、徒歩避難と車での避難について。高田松原から避難場所まで徒歩避難としているが、かなり距離があることから、観光客は車での避難を選択するのではないと思われる。もっともっと検討が必要。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	生命の安心安全の防波堤工事は、山田湾奥関川河口付近宝来橋水門工事が、その全容が現れ、90%ほど進み、年度内完成を目指している。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	水門が12月31日に工事完了、防潮堤が令和5年3月31日に工事完了し安心。津波の浸水想定地域においては、避難訓練と緊急避難場所、あるいは緊急避難所の周知徹底が必要と思われる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	最後まで残っていた船越湾岸の防潮堤も完成が間近になった。ソフト面で、住居が高台に移った人が多いことから、津波に対しては安心感があり、危機感が薄れてきたかも。令和元年の台風19号の復旧工事も終了したが、今後起こりうる大雨災害時の個々人の対応等については考えていく必要がある。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	39歳以下	女	台風等の災害の道路補修がひとまず終わった。他の地域では終わっていないところもある。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	大きく頑丈な防潮堤が他市町村と繋がり、今は門扉の工事が行われている。大きなクレーンの動きで遠目にも良く分かる。工事が終るまでは、災害が来ない事を願っている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤の整備は完了したが、避難場所の整備が遅れている。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤の工事も終わり、あとは乗り越し道路の工事を待つだけ。
やや達成した	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	ハード面はほぼ終了した。避難方策の見直しや周知はまだまだできていない。知らない人が増えている。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	継続して避難訓練が地区ごとに行われている。震災から11年が経ち、経済的に落ち着いた今、家を建てている方が増えた。家を建てられた方たちの避難訓練への参加率が悪い。危機意識の低下が感じられる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	安全な町作りにむかって、ハード面の整備が行われている途中である。着実に進んでいる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	久慈の港湾防波堤の進捗が遅れているので。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	避難経路などの表示があちこちで見られるようになった。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	「安全」については、多くの方の努力により達成できていると思う。その一方で「安心」については、目に見えないもの、人の心が決めるものだからこそ、これからの取組が大事なのだと思う。「安心」「安全」のまち作りを皆さんと一緒に進んでいきたい。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	震災後の復旧は整ったと思う。先日新たに出された「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」の浸水想定にはびっくりした。せっかく整備した防潮堤は意味がなかったのかと不安になるものであった。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	防潮堤の完成、三陸道の開通により、安全なまちづくりは進んでいる。一方、避難訓練の参加者の増加、住民の意識を低下させない工夫は継続していかねばならない。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤の整備は確かに進んだと思うが、「災害に強い」、「安全なまち」とするためには『避難方策の充実』がまだまだ不足していると感じる。住民をまき込んだ避難訓練や、防災教育が教育現場でも必要になるのではと思う。遠くよりも、高い所へという意識付けを工夫して実施することが命を守ることに繋がっていくと思っている。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	津波に対するハードは、ほとんど完成している感がある。しかし、自然災害に対しては、いつ何事がおこるか知れず、常に考えつづけていく必要を感じる。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	・三陸道の開通や、防潮堤の整備など、安全なまちづくりは達成したように思う。 ・東日本大震災よりも上回る浸水地域が示され、対策が急がれる。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	女	防潮堤の整備は進んでいるが、高齢化が進んでいるため、いざという時に避難できるのか。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	・被災された方たちの生活も落ちついている様子であるが、高齢者世帯が多く、不安は大きいようだ。 ・三陸道を利用している。前に進んで居ると実感する。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	岩手県が本年3月、最大クラスの津波浸水想定を公表した内容がR4年11月16日岩手日報に掲載されたが、高田松原一帯の防潮堤が破壊される最悪の場合、嵩上げ地区の中心付近で5~6m浸水する見込みとのことである。 従来の「浸水しない前提」に基づく防災対策は見直しを迫られ、住宅や事務所の形が整い、限られた財源の中で大がかりなハード整備も難しいとのことである。「費用対効果」を考えた場合、「今になっての見直し」はあまりにもひどいと思う。「最小の経費で最大の効果を挙げる防災対策」が今こそ望まれるのでないか。ハード面のみならず、早目の避難、ソフト面の整備・充実が望まれるのでないか。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	女	巨大地震により、想定される被害は、津波に限らずガケくずれ、地盤沈下など色々考えられる。ハザードマップ等の整備は行われているが、それを周知(とくに年配者)するのが難しいのではないかと。浸水区域が修正されたり、避難所が変わったりということも知らない人いると思う。ソフト面への更なる整備を。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸北部	60歳以上	男	今後、「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」に伴う津波に対応した整備には膨大な予算が必要になる。ソフト的対策を考えるのも含め、必要十分な検討を願う。
やや達成した	教育・福祉施設関連	沿岸南部	39歳以下	女	防潮堤や復興道路も完成した。1階が浸水するかもしれないため、2階に非常電源を置いている公共施設があると聞いた。今でもしっかりそういう想定を考えて様々なことを検討しているのだと感じた。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	女	震災を知らない子どもたちへの学習も必要だと思っていたが、定期的に学ぶ機会があるようで、これから発生が予想される大地震にもある程度心構えが出来てくるのではと期待している。防潮堤も整備され、ハード面はだいぶ災害へのそなえができてきていると思う。
やや達成した	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	防潮堤が完成すれば達成する。私の地域では、あとは水産業の支援に期待する。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	インフラ整備はほぼ完成に近づいている。災害に強いかどうかは不確定で、公表された地震に対する被害予想は大きいものがあった。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	60歳以上	男	「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用が開始され、東日本大震災を上回る震災への対応が迫られる中、人命を守るための新たな防災への取り組みの必要性を強く感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	防潮堤はややできたが、水門工事がまだまだできるまで年月がかかるようだ。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	男	日本海溝・千島海溝を震源とする巨大津波の発生予測と浸水域の公表により、これまでのハザードマップの見直しが大きな課題であると思われる。また、津波避難のルートや方法についても大幅な見直しが必要になる。今後の対策が重要になって来るものと認識せざるを得ないのが現状で、不安な状態が続く。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	60歳以上	女	津波時の避難方法など、まだまだむずかしく思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	50歳代	男	かつての防潮堤よりも高さ、強度の面ではハード面は改善されたと思う。マスコミによると、今後発生する更なる大津波が東日本大震災よりも大きく、浸水区域の見直しがなされるといふ。再び発生した場合、どこまで町や人の命を守れるのか。各避難所の物資等の整備の再確認も必要かと思われる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	女	被災後に建てた家があまり安全ともいえない場所だったことにがっかりしている。避難所もしかりで。せつかく作った建物・施設が安全なものになる方法があれば良いが。
どちらとも言えない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤は完成したので今は大丈夫だと思うけど、新たな津波の想定も出たので、その対策がまだ、これからになるので。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	被災前に比べれば、防潮堤や土地のかさ上げなどがほぼ終わり、達成されたと感じる。ただ、6カ月で考えると、あまり大きな変化は見られないと感じます。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	東日本大震災を受けての対策は、できていると思うが、最大クラスの津波浸水想定について発表されたものを見ると、今の状態で大丈夫なのか、不安になる。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	勤務先の防潮堤の完成、三陸道の全線開通後から、特に何かが変わったとは言えないと思うので。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	50歳代	男	防潮堤や道路はかなり整備されている。心配なのは意識の風化。浸水域に住宅を含めた建物が多く建設されているのを見ると不安になる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	最近では、防潮堤の整備の他に、避難訓練などのツールも活用していく事で、安全なまちづくりで出来るのではないかと。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	40歳代	男	大津波被害の想定が発表されたが、楽観できる予想ではなかったと感じる。遅くならないうちに、まだ出来る事があると感じている。
どちらとも言えない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	女	東日本大震災に関係したものは達成したと感じている。今後予想される「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」の被害想定公表によって、地域の官民において改めて震災に対する考えが芽生えてきており良い方向だと思う。ただし、完成した防潮堤や水門は、今までの震災を参考としており、今後想定される巨大地震への対応をどうするか具体的な説明もなく不安である。我が身は我で守れと言われても、高齢化社会では限界がある。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸南部	40歳代	男	インフラはほぼ整備されたが、震災の風化が心配である。今の日常に慣れてしまい、また災害がおきた時に行動に移せる心構えが薄れてきているのではと感じる。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	工事は終っており、インフラは整ったと思う。
どちらとも言えない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	ハード事業も殆んど完了し、大きな変化はない。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	嵩上げや港湾整備等により、災害に強いまちづくりに向けた一定の整備は完了したものと思量するが、東日本大震災での想定を大きく超える津波被害を鑑みれば完全な状況とは言い難いのではないかと。また、進捗状況に関しては、インフラ整備の完了もあり、この6カ月間での進捗はあまりないものと感じている。
あまり達成していない	産業・経済・雇用関連	沿岸南部	50歳代	男	堤防が未完成であり、安心して生活できない。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	50歳代	男	防潮堤の完成や、三陸沿岸道路の全線開通で工事も完成したが、まだまだ不安が残る。
あまり達成していない	地域団体・郵便局関連	沿岸北部	60歳以上	男	「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」による新たな「岩手県津波浸水想定図」によると、当地区の津波防災センターや新しい移転住宅地が津波浸水区域になっており、住民は不安に感じている。一方、地区の自主防災組織や行政の体制は整備されてきている。
達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸北部	50歳代	男	北海道・東北の太平洋沖、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定が報道されている。具体的にどのように対策をするのかまでは伝わってこない。
達成していない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	40歳代	男	新型コロナウイルス感染症の影響で集まりが足りないため、自主防などのソフト面の取り組みが進んでいない。
わからない	産業・経済・雇用関連	沿岸北部	39歳以下	男	コロナ禍で、生活様式が大きく変わり、震災前との単純な比較が難しい。

区分	職業・所属等	地域	年齢別	性別	自由記載(理由)
わからない	教育・福祉施設関連	沿岸南部	60歳以上	男	災害に強い安全なまちづくりを進めているとは思いますが(防潮堤はほとんど整備されているが)、閉伊川の水門はいつ完成されるか分からない状況であり、大雨による洪水災害(被災)や巨大地震に伴う津波浸水区域が拡大するなど、新たな課題がある。震災に係る対策は進んでいると思うが、現状を見ると分からないことが多い。また、震災直後とは状況(新型コロナウイルス感染症の影響、大雨災害、不漁、物価高等々)が変わっていて、答えづらいと思う。

令和5年第1回いわて復興ウォッチャー調査 自由記載集

発行

令和5年2月16日
岩手県 復興防災部 復興推進課

〒020-8570
岩手県盛岡市内丸10-1
電話 019-629-6935

【自由記載集:掲載にあたって】

- ・自由記載(理由)は、表現も含め、原則として原文のまま掲載しています。
(一部、誤字・脱字等の修正や企業・団体・個人名の置換えなど、表現をあらためています。)